

点ばかりの怒意の表に黙として居られよう！

忍従から清水角田の天地を掃いて、おんま心正義の旗を立て、高らかに進め！

吾人の言に「抑は正に勝たず」とか也、堅忍自重して自己の信ずる理想の創進へ進めよう。

諸君よ来たれ!!! 立て!!!

立て鉄か足草の救命を救へよ。

今こそ鉄が枝友會年来の剝紙せよ実力を發揮する時が来たのだ、我等が同成た。

枝友會と云ふ総合的人格を重視し、一人、永年彼救保全のため人類生進のためには汗血と

惜し可有かつた生産の聖子、鉄が同胞を塵芥の如く踏僕に放棄して顧みない彼等共

本家の極道を脅威せよ、然して我等の威力の前には彼等を屈伏せよめよ。

正義は天神に成らぬ!!!

最後の必勝と炎底深く信託して勇敢に行動せよ

九二六 秋

京 浪 浪 衝 枝 友 會

▲ 會 員 注 意 事 項

(原 文 一 邊)

一、欠勤の場合ハ調査部ニ報告スルコト

二、出勤後止ムラ得かん事情ニ依り外出の場合ハ調査部ニ申出テ中央部ノ承認ハ
外出スルコト

三、退場後ハ各自會員以外ノ訪問ハナシベシト

四、退場後外出の場合ハ其ノ行きヲ戻後又ハ隣家へ明細ニ知らせ置クコト

五、工場内外ヲトハス流言飛語ヲシ、レムコト

六、必要ナル事項ヲ見出し、場合ハ互チニ調査部又ハ中央部へ報告セラルコト

七、工場内ニ於テ又ハ一般會員ハ會社員ニ対シテ自由ナル行動ヲシ、レムコト

八、一般會員が「未だかい」ニ傍事ニ依ラズ注意スルコト

九、一般會員ハ招集ノ場合ハ互チニ指定ノ場所ニ集合セラレヌシ